

お知らせ

平成26年10月23日
＜同時資料提供先＞

鳥取県政記者会
倉吉記者クラブ
米子市政記者クラブ

国道9号(米子道路)橋梁の損傷状況を 合同で現地確認します

～よなごおおはし米子市内の「米子大橋」～

道路建設後から相当年数が経過し、老朽化が進んでいる橋梁もある中、既存の橋梁の寿命を延ばし、より長持ちさせるために損傷の早期発見・早期補修の予防保全対策を行うことが重要であり、道路を管理する職員の技術力の向上も必要になっています。

そこで、国土交通省倉吉河川国道事務所では、関係機関と合同で橋梁の損傷状況を確認し必要な技術力の向上を図ると共に、橋梁の現状と点検の必要性等をご理解いただくために報道機関の方に公開します。

【実施内容】

- 実施日時：平成26年10月28日（火）14：10～15：30
※雨天中止（小雨決行）
- 集合場所：当日14：00迄に現地集合（日野川河川敷（別紙））
※詳細な現地時間等は担当まで問い合わせください。
- 実施概要：リフト車を使った損傷状況の近接目視点検、非破壊検査を体験する。（詳細は別紙のとおり）
- 実施場所：よなご こほうち鳥取県米子市古豊千地内
米子大橋（国道9号 米子道路）（別紙参照）
- 参加者：約15名
中国地方整備局道路部、中国技術事務所、倉吉河川国道事務所、関係自治体、コンサルタント

問い合わせ先

【倉吉河川国道事務所】

国土交通省 中国地方整備局 倉吉河川国道事務所 TEL 0858-26-6221（代表）
（技）副所長 安野 聡 （内線205）
（担当） 道路管理課長 山脇 健一 （内線431）

【お知らせ】

「道路構造物の老朽化対策」パネル展を、下記の会場にて開催しています。

- ・米子市役所 1階市民ホール（平成26年10月22日～11月7日）
- ・イオンモール日吉津 東館2階展示スペース（平成26年10月18日～10月29日）

合同現地確認の実施概要

1. 主旨

倉吉河川国道事務所では、(平成26年10月1日現在、橋長2m以上)の橋梁272橋を管理しており、早期発見・早期補修の予防保全対策を計画的に取り組んでいるところです。今年度は、50橋の橋梁定期点検を予定しています。

2. 合同現地確認のポイント

- ・遠望目視と近接目視との違いを体験。

遠望目視ではコンクリートの剥離・鉄筋露出は確認できるが、浮きは確認できません。

近接し、打音検査することでコンクリートの浮きを確認します。

- ・鋼材の腐食しやすい箇所の確認(支承部、下フランジ等)

リフト車に乗り、橋梁下からでは点検し難い箇所の状況を確認します。

- ・第三者被害予防措置

叩き落としや、叩き落とし後の処理方法を確認します。

(リフト車による近接目視点検イメージ)



3. 非破壊検査の体験

非破壊検査とは、既設構造物を傷めることなく現地状況を計測出来る試験です。以下の非破壊検査機の、実施体験を行います。

1) 表面塩分測定試験(写真-1)

表面塩分測定試験とは、「塩害」の要因となる鋼材等に付着した塩分の濃度を表面塩分計にて測定する試験です。

「塩害」とは、橋梁に使用される鋼材に、塩化物イオンにより腐蝕が生じる損傷です。

写真-1 表面塩分測定試験状況



2) 簡易ひび割れ変位計設置 (写真-2)

簡易ひび割れ変位計とは、動きのある変状（アルカリ骨材反応、疲労）に対し、継続観察する計測器です。

「アルカリ骨材反応」とは、コンクリート中の骨材（石）に反応性の鉱物が含まれていた場合に、コンクリート中のアルカリ性の水分と反応し、骨材が異常膨張してひび割れが生じる損傷です。

「疲労」とは、大型トラック等が多数走行することによる繰り返し荷重で疲労が累積され、鋼部材では亀裂、コンクリートではひび割れが生じる損傷です。

写真-2 簡易ひび割れ変位計設置状況



3) コンクリートテスターによる圧縮強度試験(写真-3)

コンクリートテスターとは、「凍害」などにより、コンクリート強度の低下に対し、コンクリート表面を打診し、コンクリート強度を測定する計測器です。

写真-3 コンクリートテスター試験状況



4) ファイバースコープによる点検 (写真-4)

橋梁の狭窄部などの直接目視点検ができない箇所の変状を確認するための計測器です。

写真-4 ファイバースコープ点検状況



実施日時：平成26年10月28日(火) 14:10~15:30

集合場所：日野川河川敷

